



自立生活のサポートのため 認知症初期集中支援チーム検討委員会委嘱状交付式

北秋田市認知症初期集中支援チーム検討委員会の委員委嘱状交付式が、10月7日に市民ふれあいプラザで行われました。同委員会は、認知症の人およびその家族等の初期支援を行う「認知症初期集中支援チーム」の効果的な事業推進のため、チームの活動状況や関係機関との連携方法について調査検討し、公正かつ中立な運営を確保するため設置されたものです。委員に委嘱状が手渡されたあと、津谷市長から「認知症の方は年々増えており、2025年になると高齢者の5人に1人が認知症になると予想されている。円滑な事業運営のために協力をお願いする」などとあいさつしました。



お気に入りの一冊を見つけて 園児の図書館体験デー

市内の保育園と認定こども園の年長児を対象にした図書館体験デーが、10月12日から22日までの間に鷹巣図書館と阿仁公民館図書室で行われ、絵本の読み聞かせを楽しんだり、本の借り方などを学びました。16日には、綴子保育園から12人と南鷹巣保育園から17人の園児が参加しました。はじめに、図書館ボランティア「たまてばこ」による絵本の読み聞かせが行われました。このあと、園児たちは職員から本の借り方について説明を受け、館内の本を見て回り、好きな本1冊を選んで、図書貸出カードを使い、実際に本を借りる体験を行いました。



楽しく食を学んで健康に 令和2年度北秋田市食育フェスタ

北秋田市食育フェスタが、10月3日に市民ふれあいプラザで行われました。初めに主催者を代表して津谷市長から「病気に負けない体力、免疫力をつけるためにも、食は大事である。今日の食育フェスタが実り多いものになることを祈っている」などとあいさつがありました。このあと、「5ゼロGO! 歯っぴーキッズ」と「7520よい歯の認定」の表彰式、「今こそ活かす。味噌汁のある食卓」と題して特別講演などが行われたほか、食に関する展示コーナーも設置され、来場者は食の大切さについて理解を深めました。



防犯意識の向上を呼びかけ 令和2年全国地域安全運動出動式

令和2年全国地域安全運動出動式が、10月9日に北秋田警察署前で行われました。この運動は、地域安全に資する関係機関・団体および警察が、地域安全活動をさらに強化するとともに、相互間の連携を図り、安心して暮らせる地域社会の実現を目的として行われているものです。式典では、秋田県防犯功労者表彰の伝達が行われたほか、津谷市長をはじめとする来賓の方々からあいさつがあり、その後、参加者はそれぞれパトロール車両に乗り込み、地域の安全のため、各地区に分かれてパトロールを行いました。



自然の美しさを感じる施設完成 森のテラスほたる観賞処お披露目会

北秋田市森吉地区桂瀬にある森のテラスでは、9月22日に新たに完成した森のテラスほたる観賞処のお披露目会が行われました。お披露目会では、関係者によるテープカットを行い、有限会社森のテラス山田茂雄代表取締役からは「ほたるは水の象徴であり、この施設は水を護るように作っている。これからは環境の時代、それを考えられる空間を目指し今後もがんばっていききたい」などとあいさつがありました。また、森のテラスではダリアが見頃を迎えており、参加者は、赤や黄色など、色とりどりのダリアを観賞していました。



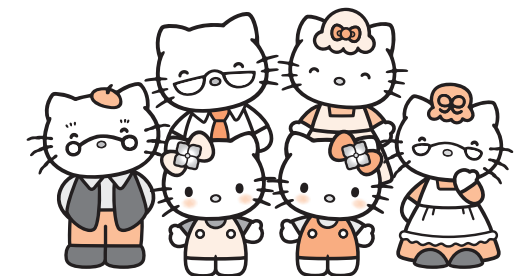
市内の産地化を目指して にんにくの植え付けが最盛期を迎える

北秋田市では、にんにくの産地化を目指した植え付け作業が9月下旬から10月上旬にかけて市内各所で行われ、最盛期を迎えています。市内では、認定農業法人しらかみファーマーズ、農事組合法人ぬかさわ、農事組合法人向黒沢ファームなどでにんにくの大規模栽培が行われています。このうち、20ヘクタールのほ場を整備しているしらかみファーマーズでは、今年度16ヘクタールのほ場でにんにくを栽培しています。現在植え付けされたにんにくは、来年の6月下旬から7月上旬ごろに収穫される予定です。



市内のいろいろな出来事を紹介します

ちいきの話題



全国へ向け事業を開始 くみあい飼料(株)秋田比内地鶏加工センター開所式

10月1日、北秋田市合川地区川井において、くみあい飼料(株)秋田比内地鶏加工センターの開所式が行われました。同センターは、地元JAの比内地鶏加工施設として設置されましたが、経営基盤の強化やさらなる比内地鶏の消費拡大を狙いに、今回、事業の移管を行ったものです。JA全農北日本くみあい飼料株式会社羽田仁一社長は「農業協同組合の一員として、事業を引き受けることになった。比内地鶏の普及のためがんばっていききたい」などとあいさつしました。このあと来賓からのあいさつがあり、同センターの開所を記念してテープカットが行われました。

